

阿武山ハイキング 活動報告

担当 4班

JR 総持寺駅から関大高槻キャンパスに至る 約11kmの阿武山ハイキング。阿武山は大阪府高槻市と茨城市にまたがる北摂山地の一部を構成する山で「大阪 50 山」の一つに認定されている。江戸時代徳川幕府公認の堂島米会所の米相場をいち早く伝えるため旗振り通信が行われましたが阿武山はその拠点の一つで歴史的な役割を担った山でもありました。下の写真は阿武山遠景



1. 実施日時 : 2023年2月17日(金) 晴
2. 集 合 : 9時 45 分 JR 総持寺駅
3. 参加者数 : 61名
4. 解 散 : 14時 30 分 関大高槻・バス停
5. 行 程 : JR 総持寺駅集合→①安威川河川敷→桑原橋→登山口階段→②阿武山稲荷神社鳥居→③阿武山古墳→④阿武山・標高281mの山頂→(昼食・班長会)→阿武山登山出口→関大高槻キャンパス・バス停 解散 →(高槻市バス)→JR 高槻駅



*○内の番号は、次に示す写真と連動しています。

*解散後、関西大学バス停から路線バス数台に分散乗車して帰路につきました。



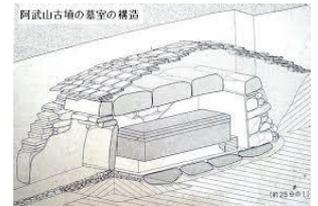
① 安威川河川敷の
カワセミ(鳥井さん撮影)



②阿武山稲 荷神社鳥居
をくぐり阿武山古墳へ



③史跡 阿武山古墳



③阿武山古墳
墓室の構造図



④阿武山の山頂



④山頂からの展望



(参考)京大地震観測所



(参考)建設中の
安威川ダム

6. ま と め

天気が良く早春の安威川河川敷をのんびり約1時間余り歩いて阿武山登山口へ到着。そして低山とはいえ登りはかなりの急坂、しかしながら山頂からは高槻市街・茨木市街が見通せる素晴らしい展望と共に昼食を含め十分時間をとりこれらの景色を堪能することが出来ました。更には山頂に至るまでに立ち寄った史跡 阿武山古墳は石室が漆喰で固められているというその独特の造りから「貴人の墓」と言われており、藤原鎌足の墓であるという説があるということで興味深く観察、悠久のロマンに浸ることが出来た一日となりました。また今回の計画に組み入れませんでした。山頂近くには森に囲まれた京大地震観測所があり、山頂から見える建設中のロックフィル方式の安威川ダムが完成すれば豊かな水と緑の都会のオアシスになることが予想され機会があれば是非訪れたい所です。

7. 植 物 観 察 : 何と言っても山頂近くのご神木「エノキ」の大木が目につきました。 その他の樹木には「センダン・ネジキ・ソヨゴ・リョウブ・コナラ・アバマキ」等が見られ、「アセビ・シャクナゲ・ヒサカキ」等の蕾も春を待っているようでした。一方シダでは「コシダ・リョウメンシダ」が群生しておりました。 以上